

神戸市の環境学習講座に参加しました！

当社の企業理念のひとつである「私たちは水と大気と生命（いのち）の惑星、地球を大切にし、人間社会のライフラインを守ります。」に基づき、当社が創業当時からかかわってきた「水」について様々な人に知ってもらうため、「水の大切さ」を学ぶ体験学習教室を開催いたしました。

記

日時 : 平成20年6月14日(土) 10:00～15:00
場所 : こうべ環境未来館
主催 : 神戸市環境局
共催 : (株)栗本鐵工所、大阪ガス(株)
実施協力: NPO法人 グループ「わ」
参加者 : 神戸市の小学校低学年を中心とする児童とその保護者の方々

□当日のプログラムメニュー

時間	プログラム内容	目的
15分	オリエンテーション&アイスブレイク	
25分	①水はいったいどこからくるの？ ～お水がみんなに届くまで～	なぜ水を大切にしなければならないかを知ってもらう
	休憩(移動)	
50分	②水のろ過実験 ③水の電気分解実験	生活排水はろ過装置できれいになるのか、水を分けられるところまで分けるとどのようになるのかを知ってもらう
30分	④燃料電池電動カート、車いすの体験試乗	燃料電池で動く環境にやさしい未来の乗り物を体感してもらう

当日の様子

①水はいったいどこから来るの？

まず、参加者の皆さんに、水道水がどのように家庭にやってくるのかを知ってもらいました。水道管を作るために鉄を溶かしている映像がながれると、皆さん驚いていました。また、汚れた水を流すと、飲み水にも影響が出ることを知ってもらいました。



②水のろ過実験



参加者の皆さんには、ペットボトルを利用してろ過機を作成していただきました。

ろ過材は、活性炭・砂・炭・小石の4つを順番に入れています。

試験液は、泥水・ウーロン茶・洗剤・味噌汁といった生活排水として流されるものです。



右の写真は味噌汁をろ過したものです。濁りがとれて透明になりましたが、色が付いています。生活排水の中には、ろ過機だけでは綺麗にならないものがあるということです。

この実験で、生活排水を安易に捨ててはいけないということを学んでいただきました。

③水の電気分解実験

水を細かくしていくと、最後にはどのようなものになるのかを見てもらいました。

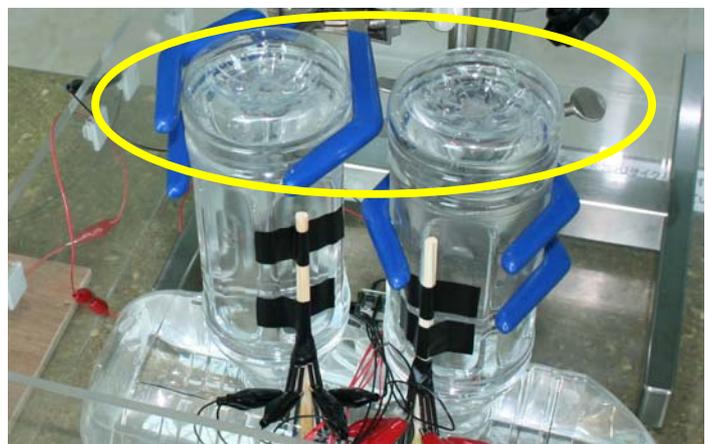
材料は、容器にペットボトル、電極に鉛筆の芯、電力は乾電池と、身近なもので実験しています。



円で囲んでいる、ペットボトルの底に、それぞれ水素と酸素が溜まっています。

水素は燃料電池の燃料となる、エネルギーでもあります。

参加した子どもさんたちは、初めての実験に興味津々でした。



この実験で、水を分解すると水素と酸素に分かれることを知ってもらいました。

④燃料電池電動カート、車いす試乗

当社が研究開発を行っている燃料電池小型移動体(カート、車いす)を知ってもらうため、カートと車いすの試乗を行いました。

これらは、水素を燃料とすることで、運転時に二酸化炭素を排出しない乗り物です。



2008年6月14日(土)



試乗してもらった皆さんには、右の搭乗証明書を交付しました。証明書を受けとった時の子どもたちの笑顔はとても輝いていました。

参加者の声

特に楽しかったこと

- ・水の浄化ができること、お茶や洗剤は綺麗にならないことがわかったこと
- ・ろ過装置が思いのほか上手に出来たこと
- ・燃料電池カート、車いすがたのしかった

授業を受けてわかったこと これからやってみようと思ったこと

- ・水をあまりきたなくしない
- ・汚い水を綺麗にするのが大変だということだったので、汚い水をなるべく流さないようにしようと思いました
- ・洗い物のとき、なるべく洗剤を使用しない
- ・水を大切にするなどたくさんあり、とても勉強になりました

水の実験を通して伝えたいこと



経営企画部 戸畑

参加者が小学校低学年とのことで、実験材料をペットボトルなどにして、今回の実験を身近なもの、おもしろいものと感じてもらえるように工夫しました。参加者の皆さんから寄せられた感想をみると、楽しみながら「水」を大切に利用することを学んでいただけたと感じます。

この授業による体験を通じて、「水」という資源やエネルギーを大切に利用するといった、地球環境を考えるきっかけになることを願っています。

クリモトは今後もこのようなCSR活動を通じて地球環境への関心を啓発していきます。